

## 2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 1 月 21 日作成)

小委員会名	近代建築史小委員会	主 査 名：永井 康雄 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：西澤泰彦
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	(1) 国内外の近代建築史研究情報収集と意見交換の場としてのシンポジウム開催 (2) 近代建築史研究の普及のための一般の人々を対象とした建築見学会の開催 (3) 近代建築の保存・再生・活用に関する情報収集および『日本近代建築総覧(新訂版)』追補リストの更新 (4) 海外の近代建築史研究者との交流 初年度：i) 連続シンポジウム新シリーズ準備 ii) 見学会開催 iii) 近現代建造物緊急重点調査事業関連の調査研究, など 2 年度：i) 連続シンポジウム新シリーズ「近代建築史研究の磁場」第 1 回(実践編)開催 ii) 見学会開催 iii) 近現代建造物緊急重点調査事業関連の調査研究, など 3 年度：i) 連続シンポジウム「近代建築史研究の磁場」第 2 回(理論編) ii) 見学会開催等 4 年度：i) 連続シンポジウム「近代建築史研究の磁場」第 3 回(実践編) ii) 見学会開催, など	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 主査：永井康雄(山形大学) 幹事：田所辰之助(日本大学) 委員：梅宮弘光(神戸大学)、角哲(名古屋市立大学)、笠原一人(京都工芸繊維大学)、金子晋也(札幌市立大学)、川嶋勝(日本大学)、木島孝之(九州大学)、千代章一郎(島根大学)、谷川竜一(金沢大学)、玉田浩之(大手前大学)、橋寺知子(関西大学)、堀田典裕(名古屋大学)、安野彰(日本工業大学)、山崎鯛介(東京工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2019 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	なし ※3 月 7 日に連続シンポジウム「近代建築史研究の磁場」第 2 回(理論編)の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期することとした。
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 連続シンポジウム・シリーズ「近代建築史の最先端」に代わる新シリーズ「近代建築の磁場」の第 2 回を開催(予定)。 2. 函館の近代建築見学会を開催(予定)。 3. 引き続き情報収集を進めることとし、加えて文化庁「近現代建造物緊急重点調査事業」対応として前述のシンポジウムと連携させながら近現代建造物の評価基準に関する協議を継続している。 4. 今年度は特に対処していない。

<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 委員会開催については、予算上の制約（執行額，支出規程）のため，大会およびシンポジウムにおける旅費支給外の会合により補わざるを得ない状況。</li><li>2. 一般の人々を対象とした建築見学会については，委員が所属する各支部における近代建築史関係常置委員会管掌企画では実施してきており，小委員会レベルではその成果公表をWEBでの情報発信とも連動させることを継続して検討したい。</li><li>3. シンポジウム新シリーズ企画の第3回以降の継続展開に向け準備を進め，これに若手研究者の参画機会増加，関連他領域との学術交流を連携させる。</li></ol>
--------------------------	--